令和6年度

第1回 留萌市子ども・子育て会議議事録

開催日時：令和6年8月5日（月） 午後3時30分

開催場所：留萌市役所 3・4号会議室

留萌市子ども・子育て会議

令和6年度第1回 留萌市子ども・子育て会議 会議録(要旨)

○開催日時

令和6年8月5日(月) 午後3時30分～午後4時55分

○開催場所

留萌市役所 3・4号会議室

○出席委員

伊端委員(会長)／田谷委員(副会長)／峨家委員／鳴海委員(途中出席)／
和泉委員／竹内委員／福士委員／村山委員／堀口委員／ (順不同)

○留萌市教育委員会事務局

柴谷教育部長

中村子育て支援課長／花岡子育て支援係長／佐伯子ども家庭支援担当主査／
松浦子育て支援センター主査

真鍋教育政策課長

松本学校給食センター長

○議題

議 事

- (1) 計画に基づく具体的事業の進捗状況について：資料1
- (2) 市内幼稚園・保育園の認定こども園への移行について：資料2
- (3) 第3期留萌市子ども・子育て支援事業計画の構成について：資料3

報告事項

- (1) 令和5年度子育て世代包括支援センター実績について：資料4
- (2) 保育所等利用状況について：資料5
- (3) 留萌市子ども子育て支援に関するニーズ調査(完成版)について：資料6

情報提供事項

- (1) 学校給食センターからの情報提供について：資料7

○内容(要旨)

<定刻開始>

<会長挨拶>

<委員退任と新任委員について>

<会議成立の確認>委員過半数9名出席により会議成立

<職員紹介>

<議事録署名委員の指名>会長指名により竹内、福士委員に決定

<委員の紹介>事務局より紹介

<以降、会長により進行>

<1 議事 >

(1) 計画に基づく具体的事業の進捗状況について

<資料により事務局から説明>

【質疑】

(会 長) 100くらいの事業があるが、質問等はあるか？

(会 長) 以前、スポーツ協会の評価が下がったことがある。理由は読書感想文の応募数が目標より少なかったということであったが、それで評価が下がるのかとも思ったところ。今回の評価で、Aはよいとして、BやCはどうするのかの検証があってよいのでは。例えばNo①の1、子育て支援センター事業、目標1万で実績6千、これなどそもそも目標設定が高すぎたのかもしれない。目標の設定を確実にいき、その上で、あきらかに関係者の怠慢などあればそこを確認すべきである。

(事務局) 子育て支援センターなどはコロナ禍の影響などで目標と実績に乖離があるのではないかと思う。ご指摘の、B、C評価だったものは今後よく精査しながら目標を設定していきたい。

(会 長) せっかく目標をたてても、行政の責任ではなくとも未達ということはあり得る。B、Cについては検証して次の目標設定に生かしてもらえれば。

(事務局) 目標は所管ごとに検討し設定している。達成できないような目標を設定していることもあるかもしれないが、数値の達成だけでなく内容として進捗があったかどうかを大事と考える。アンケート等の結果で「前年度以上」といった設定をはずしたのものもある。アンケートの回答割合だけでの進捗判断、効果の判定にそぐわないと思われたものなので、それらは設定も適宜見直している。

(2) 市内幼稚園・保育園の認定こども園への移行について

<資料により事務局から説明>

令和7年4月からの移行に向けて準備中のもの。これから道に申請するものもあり、その結果を受けて移行となる。

【質疑】

(会 長) メリットはいろいろと説明があったが、デメリットはないのか。委

員の意見はどうか。

- (委員) 書類を集めている段階で、詳しくはまだ言えないが、アンケートで下の子が生まれた時に仕事をやめなければいけなかったという意見もあり、そこへの対応ができるようになると思う。
- (委員) 数年前から2号認定がほぼいの状況。デメリットについては、現在移行を進める上で良いこと中心に考えている。認定に向けて、地域で保護者のニーズが高まっていると考えて準備を進めているところ。
- (委員) ここ数年、就労する保護者が増えており、幼稚園としても認定こども園への移行を考えるべきと思っている。これから課題を検討していきたい。
- (会長) 経営的にも少しいかなという感じのようだ。
- (委員) 認定こども園について、そもそもよくわかってないのだが、経営的に何か変わるのか。
- (事務局) 国でも移行を進めている関係で、施設給付費という、国や自治体からの給付費、加算が少し有利になるかと思う。
- (会長) 幼保一元化という話であり、結構長い期間検討されてきたものである。

(3) 第3期留萌市子ども・子育て支援事業計画の構成について

<資料により事務局から説明>

【質疑】

- (委員) p 3の位置づけ。この計画は地域福祉計画をベースに作るのか、独自に作るものなのか。
- (事務局) この計画は法定計画であり、記載事項が決められている。そこは地域福祉計画にはない独自の内容。その他に、他の福祉計画と連携する取り組みが多く含まれ、そこは関連計画や地域福祉計画との整合をとって策定となる。
- (委員) p 29、子どもの意見について。これがポイントだろうと思う。今までの、子どもに「させる」という指導から、今は、子どもたちに自己決定をさせてください、と言われている。例えば、「掃除しなさい」ではなく、「どこが汚れていると思う？」と問いかけて自主的な行動につなげていこうとしている。しかし、先生にも親にも「させなければだめ」という人はおり、世の中全体で、子どもの意見を聞き、支えあっていくという流れが重要と感じている。
- (委員) p 26、日頃子どもを預かってくれる人。やはり核家族化の影響かと感じた。祖父母の預かりは、昔はあったが、今は隣近所との関係も薄れてきており、そういうところも変わってきているのだろう。また、高齢化が進み、祖父母にもなかなか預けられないのだろうと感じた。

(会 長) 正直、ここにあるアンケート結果などは、どこでも同じようなものではないかとも思う。留萌市の地域づくりそのものの方向性を決めていかないと。計画に「留萌市らしさ」をどう出してもらえるかが大事。上位の計画があると言ってもほとんどの人はそれを知らない。やはり、この計画の中での市の特色が出るように、ここを特に頑張るといったメッセージ性のある計画になってもらいたい。

(会 長) 資料にあるパブリックコメントの他に市民意見を聞くアクションはあるか。

(事務局) 他に予定はない。

(会 長) であれば、先ほど100くらいの事業あったが、そこをしっかりと深掘りしていくことが「留萌市らしさ」には大事と思う。

< 2 報告事項 >

(1) 令和5年度子育て世代包括支援センター実績について

<資料により事務局から説明>

留萌市の子育て世代は転勤族が多く、周囲に相談先がなくて不安というケースが多くみられる。センター等が連携しながら支援を行いたい。

【質疑】

(質問・意見等特になし)

(2) 保育所等利用状況について

<資料により事務局から説明>

【質疑】

(質問・意見等特になし)

(3) 留萌市子ども子育て支援に関するニーズ調査(完成版)について

<資料により事務局から説明>

【質疑】

(質問・意見等特になし)

< 3 情報提供事項 >

(1) 学校給食センターからの情報提供について

<資料により事務局から説明>

【質疑】

(会 長) 民間委託についてのほか、質問はあるか。

(委 員) 安心安全な給食を安定的に提供してもらえればと思う。

(会 長) 全国的に給食費の無償化という話題もあるが、そういう話は出てないのか。

(事務局) 現在のところ無償化をする予定はないが、物価高騰分の補助や多子世帯への支援は今年度から実施している。

<4 その他（意見交換） >

（事務局）当日配布資料、計画策定スケジュールについて。今後の会議予定は、11月、2月、3月。11月の段階で後半も入れた素案を提示していくので積極的にご意見をいただきたい。

（会 長）次回会議が11月ということである。パブリックコメントはいつになるか。

（事務局）来年2月の予定。

<終了>

以上